

PDA 首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年10月31日（水）15:30-18:00

会場：埼玉県立浦和高等学校

参加者：生徒24名、教員3名

ジャッジ：PDAスタッフ、上智大学、早稲田大学

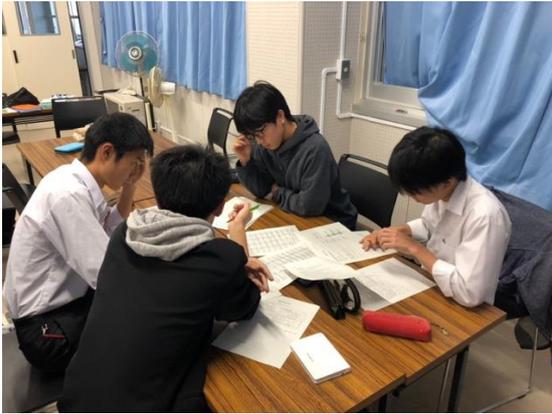
助成：公益財団法人 日本財団

初めにPDAのスタッフより、ルール説明、POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習を行った後モデルディベートの鑑賞を行いました。POIの練習では、みんなで元気よくPOIのポーズをすることができました。

いよいよ第1ラウンドの始まりです。即興型の英語ディベートをするのは初めてだという生徒も、役割分担を工夫することでチームワークを発揮していました。ディベートの中ではPOIにチャレンジするも、POIの回答を聞いてさらに質問したいことが増え、POIの枚挙に暇がありませんでした。



対戦相手を変えて第2ラウンドの始まりです。第1ラウンドとは異なる役割にチャレンジしているチームも多くありました。「相手はきっとこう言うから」と相手の話を予測しながら立論を考えたり、先回りして反論を考えたりすることができました。試合が始まると、第1ラウンドでジャッジの先生から受けたアドバイスを活かそうとしている様子が多々見られました。



最後に英語科の小河先生から「浦和高校に新しい時代が来たんだと思います。1年生も頑張してほしいですが、2年生も負けずに頑張ってください。ディベートをすることでメンタルが鍛えられる部分があると思います。この経験は勉強にもスポーツにも生きてくると思いますし、絶対将来のためになります。頑張ってください。」と激励のコメントをいただき、生徒もやる気に満ち溢れた表情を浮かべていました。

生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・論題が普段話しているようなものでも、深く掘り下げて論理的に思考することが新鮮で楽しかったです。
- ・始めは緊張していたのでうまくはできなかったが、次はなんとかやれたので良かった。話せば楽しめることがわかったので、自分の会話力から磨いていければと思う。
- ・他の同級生のレベルの高さに驚き、カッコいいと感じた。そういった人たちについていこうと必死になれたのが楽しかったし、英語で表現する喜びを味わうことができた。
- ・相手の意見に対する反論や、自分の意見を論理的に筋道立ったものにしていく過程を、すごく短い時間で行うというところが面白かった。
- ・語彙力がまだまだないので、もっと単語を増やせばより自由に言いたいことが言えるのだろうと感じた。日本語で思っていることを英語で伝導できるようにこれからも英語学習に努めていきたい。
- ・なかなか普通の授業でディベートをしないので、いい経験でした。英語力を伸ばせただけでなく、考える力もつけられた気がしたのでよかったです。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■■	さん

〈2回目〉

■■■■■	さん
■■■■■	さん
■■■■■	さん
■■■■■	さん